

平成 11 年 2 月 1 日 発行

事務局 飯能市商工観光課内
☎ 73-2111 内線 159

こんにちは。皆様、お元気ですか？
講演会のお知らせです。私達の日々の生活と身近な環境について、もう一度
考えてみるのはいかがでしょうか？
多くの皆様のご出席をお待ちしております。

◎ 2 月の講演会

「環境にやさしい消費生活」

日時： 2 月 20 日(土) 13:30～16:00
場所： 福祉センター 2F 視聴覚室
講師： 東井 怜 氏

真珠湾奇襲の直後この世に誕生。60 年安保の年、
進学で生まれ変わる。70 年新座へ転居、地域の保
育・消費者運動に係わるようになり 3 度目の生ま
れ変わり。86 年チェルノブイリの原発事故の後、かねて念願の脱原発活動へ、今日に
至る。昨年 12 月東京電力とのプルサーマル公開討論会で、市民側パネリスト (3 人の
内の 1 人) をつとめる。「新座地区連合消費生活部」代表。「いずみひと塾」代表。「東
京電力と共に脱原発をめざす会」世話人。「福島原発・市民事故調査委員会」委員。「チ
ェルノブイリと核の大地・広河隆一写真展」事務局。専門学校物理講師。通信制高校
数学講師。著書：「ゴミはどこへ行く」、共著、太郎次郎社、他。

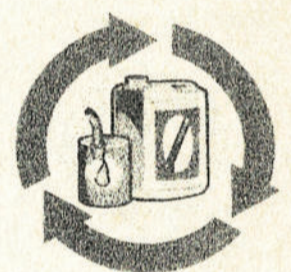


◎ 3 月の講演会

「ゴミ問題」

日時： 3 月 13 日(土) 13:30～16:00
場所： 市民会館 2F 202 号室
講師： 藤原 寿和 氏

1946 年茨城県土浦市に生まれる。70
年早稲田大学卒業後、東京都庁に就
職。産業保安行政、水質保全行政、大気保全行政を経て、現在環境保全局助成指導部
高压ガス課に配属。70 年「東京・水俣病を告発する会」結成をはじめとし、多くの環
境問題全国ネットワーク、市川のゴミを考える会、残土問題ネットワーク・ちば等の
運動団体に参加し、活躍している。



<消費生活地域講演会のお知らせ>

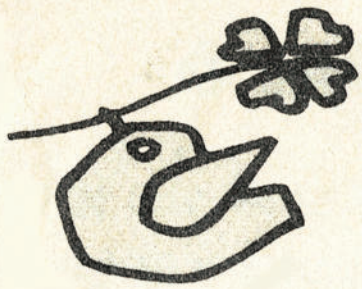
身近な問題、環境を考えましょう —環境ホルモンってどんなこと?—

内分泌攪乱化学物質、ダイオキシン、農薬等の様々な合成化学物質、電磁波、遺伝子組換え食品、廃棄物…。私たちの
身近な暮らしの不安について、そして私たちがどうしたらよいかについてお話しいたします。

講師： 天笠 啓祐 さん (ジャーナリスト・岐阜経済大学講師)
1947 年東京生まれ。早稲田大学理工学部卒。72 年『技術と人間』の編集を担当。93
年退社後、環境問題を始め先端医療、食糧問題などのフリー・ジャーナリストとして活躍中。著書：
「遺伝子組換え食品」、「危険な暮らし」、「電磁波の恐怖」など多数。

日時： 平成 11 年 2 月 17 日 (水) 13:30～15:30
場所： 所沢市民文化センター (ミュージズ) 小ホール (キューブホール)
所沢市並木 1-9-1 (西武新宿線「航空公園駅」東口から徒歩約 10 分)

参加希望者は飯能市商工観光課・商工係(0429-73-2111 内線 159)にお申し込み下さい。



行ってきました！

飯能の森林見学会

○消団連では昨年10月23日飯能の森に親しもうということで森林見学会を企画し、実施しました。

(参加者 34名)

行程：飯能市役所——ユガテ（見学）——木楽里（見学）——かたくりの郷（昼食と講演）——飯能市役所



訪問先の紹介

- ◇ ユガテの森（飯能市虎秀）
静かな美しい森でした。
- ◇ きまま工房木楽里（飯能市井上138 ☎70-2007）
工具と場所をお借りして（有料）木工品が作れます。
小さな額から、制作途中の大きな食器棚もありました。
- ◇ かたくりの郷（飯能市井上54-2 ☎78-0327）
昼食においしい“そば”を頂きました。山菜、こんにゃく等山の幸のおみやげも販売しています。
昼食後、建築設計家の吉野勲氏より「森林が暮らしを守る—もっと木のある生活を」をテーマに映像を交えた講演を頂きました。

地元の森林組合・婦人の会や林業家の方々の話しをお聞きしました。飯能の山々は命を育む大切な飲み水を提供してくれる、地域みんなの共有財産であるということ学びました。

現状では、円高で割安となった輸入材がパルプ、家具、建材に使用されて、割高な国産材が余り利用されなくなったため、林業は採算が取れず経営は困難で、山の手入れも充分には出来ないとのことでした。相続税も個人には大変な負担だそうです。山は手入れをしてこそ豊かな自然が生まれ、循環型社会が維持できるはずであるのに、今はこれが難しい状況にあることを実感しました。

そして、国産材需要の低迷が日本の森林の荒廃を招き、他方、後進国からの輸入材の増加が地球環境問題を招いているのは周知の事実ではないでしょうか。

私たちの住まいを産業廃棄物として燃やすことで出るダイオキシンの問題は、まさに私たち自身が加害者でもあり、被害者でもあるということです。私たちの消費生活から生まれるゴミだけではなく、「住まい」のリサイクルまでを考えると、地域の木材を使うことの大切さを痛感しました。

いちばん環境にやさしい建物は、日本の伝統的な民家だそうです。

発足三年目の飯能市の消団連では初めて市の暮らしのまつり生活祭に参加、手作り石けんとトイレトペーパーを1コ40円で（古雑誌を原料にしている）、熱帯雨林を救うためとして販売しました。それから各公民館にて「飲み水を考える」をテーマに移動展示会を開催致しました。

お知らせ

消費者という共通した立場で飯能市の市民生活を考える、私たち消費者団体連絡会。小さな2～3名のグループから大きな団体までの参加を歓迎します。

月に1回市役所の会議室で連絡会を開催していますので、ぜひ見学してみてください。お待ちしております。

参加希望のグループ・団体は、飯能市商工観光課内の事務局（☎73-2111 内線159）まで連絡して下さい。

